

2023年度 第11回 WEBアンケート 調査報告書

1 「LGBT（性的少数者）」

市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課

2 「食品ロス削減」

環境局資源循環部廃棄物対策課

3 「災害への備え」

総務部危機管理部防災対策課

4 「自殺対策」

保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ LGBT(性的少数者) 2
・ 食品ロス削減 4
・ 災害への備え 7
・ 自殺対策 10
・ その他 12

回答者属性

回答者数	1,631人
------	--------

性別		
男性	754	46.2%
女性	827	50.7%
その他	11	0.7%
未回答	39	2.4%

職業		
会社員	512	31.4%
自営・自由業	84	5.2%
パート・アルバイト	287	17.6%
公務員	93	5.7%
学生	54	3.3%
専業主婦・主夫	281	17.2%
無職	278	17.0%
その他	42	2.6%

年代		
10代以下	34	2.1%
20代	68	4.2%
30代	179	11.0%
40代	293	18.0%
50代	452	27.7%
60代	327	20.0%
70代以上	278	17.0%

居住区		
中央区	304	18.6%
花見川区	241	14.8%
稲毛区	282	17.3%
若葉区	120	7.4%
緑区	215	13.2%
美浜区	407	25.0%
市内在勤・在学	62	3.8%

2023年度 第11回

調査名	「LGBT(性的少数者)」「食品ロス削減」「災害への備え」「自殺対策」
調査期間	2024年2月1日(木)午前9時～2月10日(土)午後5時

概要:

<p>1「LGBT(性的少数者)」 本市では、性的指向・性自認等に関わらず安心して暮らせるよう、LGBT(性的少数者)※への支援などに取り組んでいます。 LGBTについて、皆さんの考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>※1 レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障害などで、心と体の性が一致しない人など)の頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称の一つ。</p> <p>2「食品ロス削減」 「食品ロス削減」に対する認知度と、取組み状況等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>3「災害への備え」 近年、災害は激甚化・頻発化しており、令和元年の台風15号等の一連の風水害では、本市でも大きな被害がありました。 また、政府の地震調査委員会によると、今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率は70パーセントとされています。 いつ発生するかわからない災害に備えるため、皆さまの防災・減災への意識や取組みについてお聞かせいただき、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p> <p>4「自殺対策」 自殺対策に関するご意見をお聞かせいただき、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

参考URL

https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/danjo/lgbt.html
https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/tabekiri.html
https://www.city.chiba.jp/somu/kikikanri/bosai/bousaigennsaitaisaku.html
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/seishin/jishiindex.html

- Q1: はじめに、「LGBT(性的少数者)」についてお聞きします。
現在の社会は、LGBTの方々にとって、偏見や差別などの人権侵害により生活しづら
いと思いますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,631]	
思う	363	22.3%
どちらかと言えば思う	863	52.9%
どちらかと言えば思わない →Q3へ	277	17.0%
思わない →Q3へ	128	7.8%

- Q2: そう思う理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,226]	
周囲の人の理解が得られない	936	76.3%
性別で区分された設備(トイレなど)を使いづらい	622	50.7%
いじめ(悪口、いやがらせなど)を受ける	603	49.2%
同性のパートナーとの関係を認めてもらえない	488	39.8%
自らが認識する性とは異なる性のふるまい(服装、言葉遣いなど)を強要される	428	34.9%
就職、仕事、待遇などで不利・不当な扱いを受ける	420	34.3%
申請書などへの性別の記入を求められる	384	31.3%
法律や条例の整備などが不十分	360	29.4%
行政機関などの相談・支援体制が不十分	236	19.2%
家族、友人などに相談相手がいない	231	18.8%
相談・情報交換などができるコミュニティスペースがない	172	14.0%
住宅を借りづらい	139	11.3%
その他	13	1.1%

- Q3: 学校や職場内の方にLGBTの方がいた場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。(ご自身がLGBTである方もお答えください。)

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,631]	
できる	851	52.2%
できない	69	4.2%
わからない	711	43.6%

- Q4: ご自身や周囲の方の性的指向・性自認に関して悩んだことはありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,631]	
ある	62	3.8%
ない →Q7へ	1,475	90.4%
どちらとも言えない →Q7へ	94	5.8%

- Q5: (Q4で「ある」と回答した方)
ご自身や周囲の方の性的指向・性自認に関する悩みについて、相談できる方または
場所はありますか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=62]	
友人	22	35.5%
家族	9	14.5%
同じ悩みを共有出来るコミュニティ	8	12.9%
職場や学校の人	5	8.1%
専門相談窓口	2	3.2%
一つもない	27	43.5%
その他()※200字以内	1	1.6%

- Q6: (Q4で「ある」と回答した方)
 千葉市LGBT専門相談(LGBT当事者やその周囲の方が悩みなどを相談できる窓口)を知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=62]

知っていた	14	22.6%
知らなかった	48	77.4%

- Q7: LGBTの方々が生活しやすい社会になるために、今後、千葉市ではどのような取り組みが必要だと思いますか。

【選択肢補足】

※1 同性・異性を問わず、互いを人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓を市が証明し、証明書等を交付する制度。市や民間のサービスの一部で、夫婦と同様に扱われる場合がある。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,631]

LGBTに配慮したトイレ・更衣室等の設置	737	45.2%
パートナーシップ宣誓制度※1の活用機会の拡充	732	44.9%
教育現場での啓発活動	662	40.6%
制服等の配慮	622	38.1%
相談・支援体制の拡充	547	33.5%
条例による差別の禁止	483	29.6%
行政職員や教職員に対する研修の実施	465	28.5%
イベントや講座による理解の促進	284	17.4%
コミュニティスペースの設置	197	12.1%
啓発パンフレットの配布	182	11.2%
何もする必要はない	133	8.2%
その他()※200字以内	56	3.4%

- Q8: 次に、「食品ロス削減」についてお聞きします。
「食品ロス」※2が問題となっていることを知っていましたか。
※2 食べ残しや期限切れなどの理由で、本来食べられるのに捨てられている食べ物のこと。日本では、食品ロスが1年間で約523万トンも発生しており、一人あたりお茶碗約1杯分に近い重さの食べ物を毎日捨てている計算になる(2021年度集計)。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,631]	
知っていた(内容も知っていた)	1,125	69.0%
知っていた(言葉だけ知っていた)	423	25.9%
知らなかった →Q10へ	83	5.1%

- Q9: 食品ロスに関する情報をどこで知りましたか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,548]	
テレビやラジオ	1,062	68.6%
インターネット(SNS、動画サイトなど)	572	37.0%
新聞や雑誌	536	34.6%
市政だより	408	26.4%
外出先(駅広告、飲食店など)	220	14.2%
民間事業者が実施するキャンペーン	217	14.0%
市ホームページ	158	10.2%
ポスター	134	8.7%
市が実施するキャンペーン	63	4.1%
市リーフレット	45	2.9%
その他()※30字以内	40	2.6%
覚えていない	41	2.6%

- Q10: ご家庭で、どのくらいの頻度で食品ロスが出ますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,631]	
週に2~5回程度	102	6.3%
週に1回程度	288	17.7%
月に1~2回程度	425	26.1%
ほとんど出ない(年に数回程度)	656	40.2%
全くでない →Q12へ	160	9.8%

- Q11: ご家庭で、食品ロスを出してしまう理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,631]	
食べるのを忘れてしまった	529	32.4%
買いすぎてしまう(安くついでに買い過ぎてしまった)	408	25.0%
人からもらったものが食べきれなかった	381	23.4%
賞味期限間近または消費期限間近の見切り品を買ったが、食べきれなかった	339	20.8%
好みの味ではなかったため、食べきれなかった	322	19.7%
買いすぎてしまう(家に在庫があるのに、買ってしまった)	302	18.5%
食べられる葉っぱや皮など、調理が面倒で捨てる	230	14.1%
予定外の外出により食べきれなかった	220	13.5%
野菜などの皮を厚く剥いてしまう	170	10.4%
料理を作り過ぎてしまう	151	9.3%
自分または家族の好き嫌が多い	83	5.1%
自宅で食事する機会(食べ残しや作りすぎの機会)が増えた	26	1.6%
理由はよくわからないが食品ロスが出てしまう	60	3.7%
その他()※50字以内	71	4.4%

Q12: 食品ロスを減らすためにあなた自身に取り組んでいることはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,631]

残さず食べる	1,050	64.4%
冷凍保存する	928	56.9%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	820	50.3%
買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	815	50.0%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	723	44.3%
バイキング料理では料理を取りすぎない	492	30.2%
外食の際は、注文しすぎない	410	25.1%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	396	24.3%
料理を作り過ぎない	386	23.7%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	367	22.5%
残った料理を別の料理に作り替える	353	21.6%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	74	4.5%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	42	2.6%
取り組んでいることはない	26	1.6%

Q13: 食品ロスを減らすために今後取り組んでみたい、または今後もし取り組んでいきたいことはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,631]

買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	814	49.9%
残さず食べる	770	47.2%
冷凍保存する	713	43.7%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	665	40.8%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	661	40.5%
料理を作り過ぎない	481	29.5%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	438	26.9%
バイキング料理では料理を取りすぎない	430	26.4%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	418	25.6%
残った料理を別の料理に作り替える	373	22.9%
外食の際は、注文しすぎない、小盛りのものを選択する	353	21.6%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	216	13.2%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	155	9.5%
すでに十分に取り組んでいるため、今後新たにに取り組んでみたいことはない	125	7.7%
現状で取り組んでいるとは言えないが、今後新たにに取り組んでみたいことはない	43	2.6%

Q14: 食品ロス削減につながる事業として市に実施して欲しいものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,631]

フードドライブ(手つかず食品の回収・有効活用)	781	47.9%
学校での食品ロスに関する授業(児童・生徒や学生を対象とした啓発活動)	651	39.9%
飲食店等と連携した食べきりキャンペーン	604	37.0%
食品ロス削減に取り組んでいる飲食店の紹介や支援	491	30.1%
食品ロス削減に向けた企業、団体の取組み紹介や支援(飲食店以外)	443	27.2%
イベント(へらそうくんフェスタなど)	329	20.2%
参加型の啓発事業(ワークショップ、エコ料理教室など)	286	17.5%
受講型の啓発事業(市政出前講座、ごみ減量講習会など)	198	12.1%
広報紙・パンフレットの制作	177	10.9%
啓発動画の制作	66	4.0%
特にない	116	7.1%
その他()※50字以内	44	2.7%

- Q15: 次に、「災害への備え」についてお聞きします。
地震や風水害などで自宅が破損した場合や破損するおそれがある場合は、どこに避難しますか。

(最大3つまで)(入力必須) [n=1,631]

避難所	1,060	65.0%
できる限り自宅に留まる	713	43.7%
親族宅	625	38.3%
車中泊	425	26.1%
自治会館・集会所	400	24.5%
宿泊所(ホテルなど)	305	18.7%
知人宅	54	3.3%
その他	22	1.3%

- Q16: 非常時の持出品※3・備蓄品※4として、ご家庭でどのような物を準備していますか。
[選択肢補足]
※3 自宅から避難する際にすぐに持ち出すことができる必要最低限の必需品。
※4 救援物資が届くまでの数日間、自足するために準備しておく食料・水・生活用品等。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,631]

飲料水	1,306	80.1%
懐中電灯、ランタン、ろうそく	1,303	79.9%
食料	1,080	66.2%
マスク	1,045	64.1%
携帯ラジオ	834	51.1%
トイレトーパー	817	50.1%
衛生用品(ウェットティッシュ、除菌用アルコール)	764	46.8%
携帯電話、スマートフォンの予備バッテリー	703	43.1%
歯ブラシ、洗面用具	634	38.9%
カセットコンロ	630	38.6%
災害用トイレ	592	36.3%
手指消毒用アルコール	566	34.7%
使い捨て手袋	541	33.2%
医薬品	461	28.3%
スリッパなど室内履き	369	22.6%
下着類	352	21.6%
体温計	324	19.9%
毛布、衣類など	315	19.3%
寝袋、テントなど	233	14.3%
ポータブル電源	152	9.3%
おむつ	70	4.3%
粉ミルク	23	1.4%
哺乳瓶	14	0.9%
アレルギー対応食品	4	0.2%
その他	43	2.6%
準備しているもの1つもない	86	5.3%

Q17: 市内で大きな災害が発生した際、避難指示などの緊急情報や生活支援情報は、どの方法により入手しますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,631]

ラジオやテレビ(ケーブルテレビを含む)	1,271	77.9%
ちばし安全・安心メール	581	35.6%
yahoo!防災速報	576	35.3%
携帯電話・スマートフォンのエリアメール	538	33.0%
千葉県ホームページ	436	26.7%
防災行政無線	367	22.5%
家族	321	19.7%
千葉県公式SNS(X(旧Twitter)、Facebook、LINEなど)	283	17.4%
ご近所や知人	240	14.7%
その他の防災アプリ	224	13.7%
その他の防災メール	221	13.5%
千葉県防災ポータルサイト	199	12.2%
町内自治会や自主防災組織	196	12.0%
その他のSNS(X(旧Twitter)、Facebook、LINEなど)	192	11.8%
電話・FAXによる災害時緊急情報配信サービス	58	3.6%
その他のホームページ	45	2.8%
防災行政無線の放送内容を聞くことができるテレホンサービス(0180-994-999)など	43	2.6%
その他()※50字以内	7	0.4%
入手する手段がない・わからない	42	2.6%

Q18: 市では、避難指示などの緊急情報を受信すると自動起動する防災ラジオを、町内自治会などに配付しています。もし、防災ラジオが市販(原価:1万円程度)された場合、これ以上高いと「高すぎる」と感じる価格はいくらですか。なお、いくらであったとしても有料であれば購入しない場合、「有料なら購入しない」を選択してください。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,631]

2,500円	409	25.1%
5,000円	399	24.5%
7,500円	60	3.7%
10,000円	51	3.1%
有料なら購入しない	712	43.7%

Q19: ご家庭において、家具類の転倒・落下・移動防止対策(=家具転(かぐてん)対策)として何を行っていますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,631]

安全配置 (寝る場所、座る場所、通路や出入口などに家具類を置かない。置く場合には背の低いものにしたたり、倒れる向きを考慮したりする。)	932	57.1%
対策器具等による固定(転倒防止金具等を使って家具類を固定する)	688	42.2%
集中収納 (居住スペースと収納スペースを分けることで生活空間にある家具を減らす)	295	18.1%
ガラスの破損・飛散防止や棚等の収容物の飛び出し防止 (飛散防止フィルム、扉開放防止器具など)	235	14.4%
その他	18	1.1%
対策は行っていない →Q21へ	339	20.8%

Q20: 家具転対策を行ったきっかけは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,292]

他地域の地震被害を知ったこと	783	60.6%
テレビ・書籍による紹介	474	36.7%
大地震を経験	373	28.9%
家族の勧め	172	13.3%
行政による啓発(説明会、訓練等)	102	7.9%
家具の転倒を経験	86	6.7%
民間事業者等の防災イベント	41	3.2%
知人等の勧め	30	2.3%
行政の制度(助成等)を知ったこと	10	0.8%
その他	75	5.8%

→Q22へ

Q21: (Q19で「対策は行っていない」と回答した方)
その理由は何ですか。

(最大3つまで)(入力必須) [n=339]

つつい先延ばしにしている	190	56.0%
手間がかかる	94	27.7%
費用がかかる	81	23.9%
やり方が分からない	37	10.9%
やり方はわかるが自分ではできない	21	6.2%
借家のため対策器具等を壁や天井等に取り付けられない又は 取り付けにくい	45	13.3%
転倒するような家具類がない	35	10.3%
必要性を感じない	28	8.3%
壁に穴をあけたくない	39	11.5%
部屋の見え目が悪くなる	21	6.2%
その他	11	3.2%

Q22: 最後に、「自殺対策」についてお聞きします。
 これまでに「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたことはありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,631]

よくある	67	4.1%
たまにある	164	10.1%
過去にあったが今はない	366	22.4%
ない →Q27へ	1,034	63.4%

Q23: その原因は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=597]

仕事問題(職場の人間関係、職場環境など)	277	46.4%
家庭問題(家族関係の不和、子育て・介護の悩みなど)	250	41.9%
健康問題(病気や障害の悩みなど)	130	21.8%
経済・生活問題(事業不振、失業、多重債務など)	119	19.9%
学校問題(学業・進路の悩み、いじめ、人間関係など)	105	17.6%
男女問題(結婚や交際をめぐる悩み、失恋など)	67	11.2%
わからない	33	5.5%
その他()※50字以内	25	4.2%

Q24: Q23の原因は新型コロナウイルス感染症に伴うものですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=597]

はい	22	3.7%
いいえ	575	96.3%

Q25: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

(いくつでも)(入力必須) [n=597]

家族がいるから	231	38.7%
なんとなく死にたい気持ちがおさまった	181	30.3%
環境や状況を、自ら行動し改善した	138	23.1%
人に相談して気持ちが楽になった	108	18.1%
医療機関で治療をした	93	15.6%
死ぬことが怖くなった	75	12.6%
自殺の手段が思い浮かばなかった	61	10.2%
人に相談して解決した	29	4.9%
周囲の人に止められた	23	3.9%
わからない	54	9.0%
その他()※50字以内	38	6.4%

Q26: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、誰に(どこに)相談しますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=597]

家族や親族	192	32.2%
友人や知人	141	23.6%
精神科など専門医療機関	118	19.8%
SNSを活用した相談	40	6.7%
医療機関以外の相談機関・窓口	33	5.5%
かかりつけ医	28	4.7%
職場の上司や同僚	14	2.3%
学校の先生やスクールカウンセラー	3	0.5%
相談しない	269	45.1%

Q27: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時に相談ができる窓口のうち、知っているのはどれですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,631]

千葉いのちの電話	615	37.7%
千葉市こころの電話	433	26.5%
千葉市こころと命の相談室	385	23.6%
こころの健康相談統一ダイヤル(厚生労働省)	220	13.5%
千葉市こころの健康センター	149	9.1%
よりそいホットライン(厚生労働省)	145	8.9%
「生きづらびっと」「こころのほっとチャット」などのNPO法人が運営するSNS	140	8.6%
千葉市夜間・休日の心のケア相談(電話・LINE)	131	8.0%
区保健福祉センター健康課	117	7.2%
その他	37	2.3%
全く知らない	479	29.4%

Q28: 自殺対策における「ゲートキーパー※5」という言葉や役割について聞いたことがありますか。

※5 ゲートキーパーとは、特別な資格等は必要なく、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1,631]

はい	296	17.8%
いいえ	1,335	80.2%

その他

Q5: (Q4で「ある」と回答した方)
ご自身や周囲の方の性的指向・性自認に関する悩みについて、相談できる方または場所はありますか。

【その他 主な意見 (1件)】

- ・ リアルの対面としないSNSなどのインターネットコミュニティ。

Q7: LGBTの方々が生活しやすい社会になるために、今後、千葉市ではどのような取り組みが必要だと思いますか。

【選択肢補足】

※1 同性・異性を問わず、互いを人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓を市が証明し、証明書等を交付する制度。市や民間のサービスの一部で、夫婦と同様に扱われる場合がある。

【その他 主な意見 (56件)】

- ・ わからない。(7件)

- ・ LGBTを理解し認める事は大切と思うが、男女の性別がある事も大切で、区別と差別が混同しない事を願う。個人によって受け入れる自由と受け入れない自由がある事も必要だと思うので何事も適度や折り合いが大事だと思う。認めることは大事だが、それを強要して無理に受け入れさせるような啓発にならないよう注意して欲しい。

- ・ LGBT(Q)がひとくりにされているが、LGBとTQでは性的指向と性自認という大きな隔たりがある。どんな性別の相手とも婚姻する権利はあっても、自認のみで異性を名乗る権利は認めてはいけないと思う。一部の自称トランスジェンダーのせいでシスジェンダーやLGBの人たちが苦しめられてることを考えるべき。

- ・ 行政が対応するよりも市民1人1人が理解して対応できなければ解決しないと思う。理解させられるような講座や講習、説明が必要であり、性別に関係なく利用できるトイレなどが必要である。あとは、便乗して横行する覗き等の犯罪をどう対応するかではないだろうか。

- ・ パートナーシップを結ぶ方には結婚するのと同様の制度を受けられるようにして欲しい。また、トイレや着替えなどのスペースは精神では無く身体の性別で分けていて欲しい。要望があるならオールジェンダー用に追加で作れば良いと思う。

- ・ トランスジェンダーと普通の男女の権利が衝突する場面について、市民全員の意見を確認し、どちらを優先するか決めること。また、トランスジェンダーによる普通の男女への加害についての相談窓口も、平等に同数併設すること。

- ・ 本当のLGBTの方と、LGBTを名乗って不正な行為を働こうとする者との区別がつかないことが差別の原因になっていると思う。そこをクリアにする方法があれば大きく前進すると思う。

- ・ 異性の配偶者を持つ人同様、扶養控除の実施や慶弔休暇の取得推進、夫婦割引などを行なっている業種へ、LGBTパートナーにも対象を広げるように指示していただきたいです。

- ・ ただ単に理解を深めようではないと思う。緊急時の対応に際して事実婚と同じように連絡をできるように、など、法律ではないところをケアできるような制度を構築する事が必要。

- ・ LGBTの認知度がまだ低く、比較的年配の方に低いと思われるので周知したり条例で差別のないようにしたりなど広く認知してもらう必要があると思います。

- ・ LGBTは同性間の友情を無残にも裏切る傾向がある。行政が支援する必要はないと考えます。敢えて支援するのであれば医療面から行うべきだと思います。

- ・ LGBTの方々とたくさん遊んだり、触れ合って、みんなと変わらないということを実体験したり、LGBTの人ならではの得意なことを教えてもらう。

- ・ 法律等で禁止したところで人の心は簡単に変わらない。性別も人種も多様な人がいるという事を子どもの頃から認知できる環境整備を願います。

・ 文化的側面があるから具体的悪さ以外は行政のトップダウン法制・制度化でなく啓蒙・啓発にとどめボトムアップの文化的変容に期待。
・ 誰でもトイレを増やしてもらいたい。女性トイレや更衣室を、身体的女性以外が使用することのないようにしてもらいたい。
・ そうでない一般の人の意見にも耳を傾けてほしい。少数意見ばかり尊重されてそうじゃない人間が生きづらくなってる。
・ 学校で教えるよりも今の世の中へのアップデートがなかなかできてない。お年を召した方へのお勉強会が必要だと思う。
・ できることは何でも取り組んで欲しい。この差別意識は根深いので、まず行政がしっかりした態度を取って欲しい。
・ 何よりも若い世代の教育が必要だと考えます。世界標準と比して理解が足りていないと考えています。
・ 理解する機会がないからどうすればいいかわからない。交流できる場を設けてみてはどうか。
・ 学校や市職員だけではなく、自治会などの地域団体に対する教育や啓蒙が必要だと思います。
・ 行政の人だけでなく一般の人の”多様性を受容する心”を育てることも必要かと思っています。
・ 特別視するレベルの教育ではなく、自然に起きていることと気持ちを理解できる教育。
・ 「認めないとダメ」という流れではなく、「認められない側」を認める多様性。
・ 行政(又は準ずる者)が、相談者の要望を踏まえ、適宜個別案件の仲裁に入る。
・ 保育園から早期に教育する。専門家を派遣、誰でもできる教育ツールを作る。
・ 日本はもともとLGBTに寛容であったので、今更に取り組む必要を感じない。
・ LGBTだけではなく、それ以外の性的少数者への理解促進と差別の軽減。
・ 行政対応だけでは解決しない課題が世間にはまだあるような気がする。
・ 身近にLGBTの方に接したことがないので実感として分からない。
・ トイレなどは身体的な区分けで絶対に別にした方が良い。
・ 人権教育や包括的性教育を幼稚園保育園から実施。
・ パートナーシップ制度の拡充を求めます。
・ 小学校からLGBTについて教育する。
・ 特別視しないことが重要だと思います。
・ 多目的トイレ・更衣室を増やす。
・ 同性婚の法律の整備。
・ 法律の整備。

Q9: 食品ロスに関する情報をどこで知りましたか。

【その他 主な意見 (40件)】

・ 学校の授業。(11件)
・ 仕事で知った。(9件)
・ スーパーなどの店頭で。(6件)
・ 家庭でずっとロスを悪いこととする教育を受けて育った。
・ 子どもが学校で教わり自宅で会話した。

・ 自己啓発団体の支援活動で体験した。
・ 小売業に従事している。
・ 日頃から感じていること。
・ フードバンクの活動。
・ 飲食店でのチラシ。
・ フリーペーパー。
・ 県のイベント。
・ 学校の書籍。
・ 学校給食。
・ 以前から。
・ 電車広告。
・ 市役所。

Q11: ご家庭で、食品ロスを出してしまう理由は何ですか。

【その他 主な意見 (71件)】

・ ほとんど出ないため。(5件)
・ 子どもが食べ残しをする。(4件)
・ 冷蔵庫に入れ、忘れて痛んでしまった。(3件)
・ 買ったものを使い忘れてしまった。(2件)
・ 備蓄の缶詰やレトルトの賞味期限を過ぎてしまう事があり、備蓄品だから味が不味いので我慢して食べる事ができない。
・ 年齢を重ねると、冷蔵庫等の収納エリアに食品を詰め込み過ぎて、その存在を忘れてしまうことが多くなった。
・ 大量パックがお買い得で適切量が高いため、多少ロスしても得だから。SDGs意識か小分け商品も見ない。
・ 野菜がものによってすぐだめになってしまう。同じ野菜を購入してもカビの生え方傷み方がぜんぜん違う。
・ 家族が病気で食べられるものが限られており、看護中買い物ができないので買い置きをしたが亡くなった。
・ 家族が夕飯を家で食べるかどうか分からないので、食材を常にストックしておかなければならない。
・ 袋に数個入っている場合、傷みかけているところが確認できず、数日でカビが生えることがある。
・ 作った後に体調不良になったりして、ウィルスの観点から食べられなかった時は廃棄している。
・ よく見て買ったつもりだったが、いざ食べるときにミカンやトマトが傷んでいたことがあった。
・ 冷蔵庫に入れて自分が買った物か家族が買った物かの判断がつかなく食べ忘れる。
・ 食材がファミリー向けの量ばかりで、一人暮らしだと使い切れないことがある。
・ 家族がそれぞれ別々に買い物をしてくる予想外に多くなってしまうことがある。
・ 一人で食べられる分だけの食材を買おうとしても細かい単位では買えない。
・ 一人暮らしなのでスーパーで売っている量では食べきれないことがある。

・ 保管しているのを忘れて、賞味期限をはるかに超えてしまう事がある。
・ 煮込む系の料理の管理を間違えてダメにしてしまうことがたまにある。
・ 野菜を冷蔵庫に入れっぱなしで、使おうと思った時には腐っていた。
・ 成分表のチェック漏れで食べられない食べ物を買ってしまった時。
・ 趣味で野菜を作っているが、できすぎてしまうと消費しきれない。
・ 残った食べ物を考えて次の料理を作らないと、作りすぎてしまう。
・ 野菜など買って来たが、すぐに使わずに腐らせてしまったため。
・ 値上げで野菜を少しずつ大事に使っていたら悪くしてしまった。
・ カビや腐敗などにより、食べられない状態になってしまった。
・ 無駄なく購入するので、ほぼロスしていないと考えている。
・ 買った野菜類で使い切る前に腐ってしまったことがあった。
・ 普段あまり使わない食材を買った時にロスを出しやすい。
・ 自炊をたまにしかしないと、調味料がほぼ使い切れない。
・ 古くなるとわかっていても疲れて調理できない時がある。
・ イザという時のためにとっといおいて腐らせてしまう。
・ 夏場は腐りやすく今の時期に比べて少しでしてしまう。
・ 一人暮らしでは調味料を賞味期限内に使い切れない。
・ 賞味期限の管理ミスでつい期限が過ぎてしまう。
・ 商品の販売単位が大きすぎて食べ切れなかった。
・ 外出先で料理の量を減らすことができなかった。
・ 野菜室の奥底にあったものに気づけなかった。
・ 食べられると思って購入したが食べ切れない。
・ 賞味期限が来たら捨てるようにしているから。
・ 葉物野菜など、使いきれずに傷んでしまう。
・ 家族の体調により食欲不振で残すことあり。
・ 家族が少ないと、つい多めに作ってしまう。
・ 食品の傷みが、思っていたより早かった。
・ 家族が安いからと勝手に買って来た食材。
・ 冷蔵庫内で、野菜がだめになっていた。
・ 非常用の食品の消費期限が過ぎている。
・ 体調不良で食べ切れなかったときなど。
・ 手料理を食べてくれる人がいない。
・ 家族のペットボトルの飲み残し。
・ 作るのに使い切れなかった。
・ 保管している食材の忘れ。
・ 食品は有難く頂いている。

・ 残り物が腐ってしまった。
・ 基本的にロスはしない。
・ 家族が帰ってこない。
・ 料理の作りすぎ。
・ 料理に失敗して。
・ 腐られてしまう。
・ 猛暑で傷んだ。

Q14: 食品ロス削減につながる事業として市に実施して欲しいものは何ですか。

【その他 主な意見（44件）】

・ 変形したものの傷モノを出せなくすることがなくなる仕組み法律作り。海外輸入を行い国内生産のモノを捨てる行為。
・ レシピ先行でメニューを決めると食材が余りがち。残った食材をつかっメニューを決めることを啓発してほしい。
・ フードドライブの開催を週2～5日にして欲しい。ビンや米、砂糖など大量で重いため、近くの駅やコンビニ。
・ パンフレットは興味がある人しか見ない。税金の無駄。バラ売り量り売りがもっと増えると必要な分だけ買える。
・ 冷蔵庫や食品棚など、どう整理すれば忘れる事なく消費できるか整理の仕方のコツをセミナーで教えて欲しい。
・ 単身や少人数世帯が増えているので、企業にスーパー等に小分けやバラ売りの商品を増やすように言って欲しい。
・ 消費者にだけ負担を押付けず業者も身を切る。古いものは割引。同額なら新しい物の方が価値あるのは当然。
・ 戦争経験者であり戦後の食糧難が身に染みているので食べ物を捨てない。足元に落としても拾って食べる。
・ 食品ロスがどこで沢山出ているのかイマイチ分からない。広く広報するのではなく重点的な対策が必要。
・ スーパーの食品廃棄の根本改善。特に店並べの豊富さをアピールするため過剰仕入れは問題。
・ 量り売りの推奨。コロナ以降、一つから買えた総菜などが複数個のパック詰め販売に変わった。
・ 透明蒸着バリアフィルムといった食品ロス対策になる工業製品への技術支援や補助金の整備。
・ 賞味期限切れ前商品の半額～9割引き販売条例制定。ゴミ回収の中に、食品回収の日を作る。
・ 賞味期限だけの表示以外に消費期限を表示してもらい廃棄する期限を可能な限り伸ばす。
・ 学校の給食で食べられなかった分やスーパーの廃棄品を、すぐ配布できるシステム作り。
・ 非常食は実際に役に立つのか疑問。消費期限がくる前にとりかえるが家族が食べない。
・ 食品ロスを減らすために堆肥に変えるコンポストを市が実施して、もってきてもらう。
・ 消費期限賞味期限を出来るだけ長く。食パンロールパンは賞味期限にして欲しい。
・ インスタ映えなど食べるためじゃなく写真を撮るためなどを止める事を啓発する。
・ 飲食店で食べ残しの持ち帰りを推奨してほしい(安全性は自己責任にする)。

・ 肥料として活用できる(キエーロ等)ものの無料配布を広く実施してほしい。
・ 行政の立場からの要請でなく市民に跳ね返るフードロスの悪さの具体的啓発。
・ 最近の冷凍食品や食品関係の新製品、商品の紹介や料理講習会等の開催。
・ 毎日スーパーと全てのコンビニで食品ロス回収して！！重いんだよ！！
・ 飲食店で食べきれなかった分の持ち帰りをできるようにしてほしい。
・ 『もったいない』以外のフードロスによる弊害？を周知させる。
・ 賞味期限切れの食品、野菜など規格外の商品の提供を考える。
・ コンビニチェーンなどと連携した、規格外野菜の販売促進。
・ ロспанなどを各店から集めてイベントや一箇所で販売。
・ 賞味期限間近なものは値段を下げるコーナーを増やす。
・ スーパーマーケット(イオン)で毎日回収して。
・ 食べ切れないのは持ち帰りの容器を用意する。
・ 売価を最初から安くするように補助が必要。
・ 賞味期限が近い商品などを割引で販売する。
・ 生ものゴミの貸出、置いてほしい。
・ 野菜の皮等を使ったレシピ紹介。
・ 賞味期限が短いのではないかな？
・ 飲食店持ち帰りBOXの設置。
・ 学校などで配ってはどうかな。
・ 安価・廉価販売の促進。
・ 小学校での残飯問題。
・ 期限前に安く売る。
・ 外食時の持ち帰り。
・ 考えつかない。

Q17: 市内で大きな災害が発生した際、避難指示などの緊急情報や生活支援情報は、どの方法により入手しますか。

【その他 主な意見（7件）】

・ 停電した場合、スマホが使えなくなる。案外、公民館などに貼り紙などしてアナログな方法が有効かも。
・ 自治会のグループLINEが回覧や伝言板になっている。
・ abemaTVの防災時の臨時配信。
・ 千葉県知事Twitter。
・ 千葉県防災ポータルサイト。
・ 広報無線は聞こえない。
・ NHKの防災アプリ。

Q23: その原因は何ですか。

【その他 主な意見 (25件)】

・ 健康問題と言うより社会問題としてコロナ禍(まだマスク警察がいてマスクを外せない、社会全体の閉塞感など)。
・ 現政府による庶民の暮らしを苦しめる政策、気候変動に無関心な所。
・ 千葉県に馴染めない…住民層や客層が悪過ぎて、生活が辛い。
・ 自分自身に存在意義を見いだせないと感じることが多いから。
・ 買い物、通院など、日常的なことが困難であること。
・ 社会復帰が絶望的、住宅問題、将来の問題。
・ 境界性人格障害、全般性不安障害のため。
・ 自身の人間性への失望、将来への不安。
・ 原因が無く漠然とそう思うこともある。
・ とにかく自分が嫌い。他人が怖い。
・ PMS(月経前不快気分障害)。
・ 不妊治療と周囲との関わり。
・ ママつながりの人間関係。
・ 自分に自信が無いから。
・ 住民同士の騒音問題。
・ セクシャリティ。
・ 自分の性格。
・ ペットロス。
・ 老後不安。
・ 友人関係。
・ 夫の不倫。
・ 生活費。
・ いじめ。
・ 親族。
・ うつ。

Q25: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

【その他 主な意見 (38件)】

・ 退職。(3件)
・ 子どもがいるから。(2件)
・ 死ぬほどの大きな事故にあったのに無傷で済んだ。自分は生きなければいけない生かされていると確信したので。

・ いつでも死ねるから、今でなくてもいいかも、明日でもいいかも。そういった形で先延ばし。
・ ロスジェネ世代かつ女性のため、経済的自立が絶望的であったが、諦めて結婚した。
・ 油絵の道具を購入して絵を描くことで心が落ち着くようになりました。
・ 職場を離れた。ただ、その後在宅での仕事しかできていない。
・ ペットの猫の面倒を最後まで見ないといけないと思ったから。
・ 現在の妻がいたから。楽しみにしていることがあったから。
・ 生きてくても生きられない人がいるから思いとどまった。
・ 異変に気付いた家族が駆け付け完遂に至らなかった。
・ 自分の死体を発見した人が苦しむと思ったから。
・ 取り敢えず暖を取って飯を食って寝たから。
・ 死にたいとは思うが本気ではないので。
・ 身内の通報で警察に保護されたから。
・ まわりの人に迷惑かけてしまうから。
・ 忙しくて考える余裕を無くした。
・ 原因である家族から距離を置いた。
・ なるようになれ！という開き直り。
・ 多忙のお陰で気がまぎれた。
・ まだ、わずかに余力がある。
・ 生理がくれば落ち着く。
・ 友人がいるから。
・ 短歌に練り込む。
・ 環境が変わった。
・ 自傷で済んだ。
・ ひたすら寝る。
・ 筋トレ。
・ 寝た。
・ 時間。